

FUKUSHI OSAKA

2025

特別号

SPECIAL ISSUE

ふくしおおさか

～出かける つなぐ 劇る～

Index

2-3 伝えるダンス、伝わる手話

くめだんすの挑戦

(大阪府立久米田高等学校ダンス部)

4-5 大学生からはじめる! #ボランティア界限

6-7 寄り添うチカラで、人生を支える

／赤い羽根共同募金運動

8 人を支えるプロになろう!

介護福祉士・保育士をめざす

あなたを応援する

貸付制度

フクシをデザインする



読者プレゼント

プレゼント応募方法は
紙面3ページを
ご参照ください!

- ①大阪府立久米田高等学校ダンス部-くめだんす-
サンクスパーティー招待券A席(ペアチケット)

5名様

- ②大阪府立久米田高等学校ダンス部-くめだんす-
サンクスパーティー招待券B席(ペアチケット)

10名様

開催日…令和8年3月21日(土)

自主公演「サンクスパーティー」は毎年2200人を超えるお客様が訪れる泉州の名物イベントで、今回で9回目を迎えます。シナリオ・照明・ダンス・飾りつけまで全て部員が考えて行っており、一年間の締めくくりとなる大舞台です。



- ③大阪府立久米田高等学校ダンス部-くめだんす-
ステッカーセット

10名様

- ④オリジナルクオカード
(500円分)

30名様



*画像はイメージです

教育長 Message

少子高齢化や地域のつながりの希薄化が進む今、福祉は大きな転換期を迎えています。だからこそ、若いみなさんが前向きに地域の未来を創造することが求められています。

社会の課題に向きあい、自ら考え、行動することはとても大切です。誰もがウェルビーイングの高い人生を歩むために、多様な声に耳を傾け、ワクワクするアイデアを創出してほしいと思います。これからの「フクシ」のかたちを、ポジティブに、アクティブに、クリエイティブにデザインしていきましょう。未来は、私たちの手の中にあります。



大阪府教育委員会
教育長
みずの たつろう
水野 達朗

ダンス×手話

「ダンス」は手足をできるだけ体の中心から大きく離して動くことが求められます。一方、「手話」は口の動きとあわせて手や腕を使い、胸の前で表現することが多く、両者は表現の方法が異なります。

このようななか、社会貢献を一つの柱に掲げている「くめだんす」は3年前からダンスに手話を組みあわせることにチャレンジし始めました。そこで日々、手話の勉強を行いながら、ダンスの振りつけと手話との融合に汗を流しました。その結果、2024年度全国高校生手話パフォーマンス甲子園のダンス等部門で見事に優勝を果たしました。

しかし、大会後の懇親会では、多くの関係者が手話で会話している中、日常言語としての手話まではできなかった部員たちは、言語的マイノリティーの立場を体験。手話はダンスの武器ではなく、一つの言語であることをあらためて実感しました。

「部員たちには、ダンスをとおして手話言語の存在を伝える力がある。この挑戦をとおして、自分たちは無力ではないことを知ってほしい」と顧問の八木克容さんは語ります。

ダンスをとおして伝えたい思い

ダンスには、部員が考えたストーリーと観客に伝えたい思いが込められています。振りつけ、衣装、ヘアメイク、表情など部員それぞれが役割を持ち、作品の完成までに何度もミーティングを重ねています。

ダンスに込めるストーリーを相手に響かせたい・届けたいという思いから、観客（小学生・障がい者・高齢者など）にあわせたダンスの表現、司会進行の手法を考えています。

イベント後、観客から「ありがとう」という言葉をかけられ、中には涙を流す人も。地域のイベントでさまざまな人と関わる中で、自分のためのダンスから、相手のためでもあるダンスへ変わっていききました。

久米田高校は公立校であり、日々の練習場所を探すにも一苦労。部長の杉原菜奈さんは「自分たちが練習できるのは、いつも誰かが協力してくれているから。年40回以上のイベントにくめだんすを呼んでくれることに対し、自分たちができる最大限の恩返しをしたい」と部員一同の思いを語ります。

伝わる手話—— くめだんすの挑戦

チーム一丸となって日本一をめざしている、大阪府立久米田高等学校ダンス部「くめだんす」。人々に元気と笑顔を届ける圧巻のパフォーマンスを披露するくめだんすがダンスに込める思いを聞きました。

部員のみなさんから、 高校生のみなさんに メッセージを いただきました！

杉原さん…勇気を出して部長になってから、自分に自信ができました。自分の限界を決めず、一度でいいから勇気を出して一緒に挑戦してみましよう。

内山さん…新しいことへの挑戦が難しいとき、私は自分の得意なことや強みに着目しています。今ある取り柄しかないと考えているのではなく、強みをさらに伸ばしています。

西依さん…人をまとめることが得意ではなかったけれど、周りの支えもあり、自分を変えようと思うように。今までの自分を捨てて、新しい自分に出会ってみましよう。

着本さん…くめだんすをとおして、これまでいろいろな挑戦ができました。



今は夢がないという人も挑戦して、一緒に頑張っていましよう。

谷澤さん…自分には夢がなかったけれど、やると決めたことに夢中になると突き通してきました。不安になるかもしれませんが、自分の行動が誰かの力になることもあります。

右から杉原菜奈さん、内山心鈴さん、西依寧彩さん、着本陽菜さん、谷澤りょうさん



みんなの声でつくる！ #ふくしおおさか

#プレゼント企画 #紙面づくりに参加しよう #ふくしおおさか

「ここがよかった!」「もっとこうしてほしい!」。あなたの声がふくしおおさかをアップデートします! アンケートに答えてくれた人の中から、抽選で豪華プレゼントが当たるチャンス🎁 くめだんすに関する特典もあるのでお楽しみに!

✓フォームから簡単入力!

締切: 令和7年10月31日(金)



*当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。*応募者の個人情報は、プレゼントの発送のみに使用します。
*重複応募・記入漏れは無効となりますのでご注意ください。

FAX・はがきの場合、下記の必要事項をご記入のうえお送りください。

- ①氏名(よみがな) ②年代 ③住所 ④電話番号
- ⑤所属カテゴリー(学生、保護者、福祉・教育関係者)
- ⑥本紙への感想 ⑦面白かった記事
- ⑧福祉やボランティアへの興味(有・無・今回興味をもった)
- ⑨興味のあるテーマ ⑩紙面の種類(通常版・ルビ版、点字版)
- ⑪希望するプレゼント(第2希望まで)

はがき:〒542-0065 大阪市中央区中寺1-1-54
(福)大阪府社会福祉協議会 ふくしおおさかプレゼント係
FAX:06-6764-5374



大阪府立久米田高等学校ダンス部 ——くめだんす——

全国大会優勝、社会貢献、自主公演「サンクスパーティ」を3つの柱に、2006年より活動を開始。2022年には高校ダンス部最大の大会DANCE STADIUMで優勝。全国大会や御堂筋ランウェイなどの年に一度の大きなイベントから、福祉施設の利用者や小中学生などを対象としたクリスマス会などの地域のイベントにも幅広く出演しており、年間公演数は40件以上。

